

令和8年度 評価規準

学校名:江戸川区立鹿骨中学校

教科		技術・家庭(家庭分野)		学年		2年		No.1	
単元名		時数	単元の到達目標(小単元のねらい)		単元のまとまりの評価規準				
衣生活と住生活		1	<ul style="list-style-type: none"> ・人を取り巻く環境である衣生活と住生活の学習の流れを把握し、学習の見通しを持つことができる。 		【主】衣生活と住生活について、人を取り巻く環境として捉え、これからの学習に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。				
住まいの役割		3	<ul style="list-style-type: none"> ・住生活を振り返り、住生活の流れを把握し、学習の見通しを持つことができる。 ・住まいの役割と家族の関わりについて理解し、生活行為と必要な住空間について考えることができる。 ・日本の住まいと住まい方の特徴を挙げることができる。 ・生活行為と必要な住空間を挙げることができる。 		【主】住まいについて関心を持ち、住まいの役割について考えようとしている。 【知】住まいの役割について理解している。 【主】自分の家族の生活行為と住空間の関わりについて考えようとしている。 【知】生活行為と住空間の関係について理解している。 【主】日本の気候風土や地域の特性に合わせた住まいや住まい方について、意欲的に考えようとしている。 【知】日本各地の住まいとその特徴について理解している。				
住まいの安全 災害に備えた住まい方		4	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの中の危険な場所について、事故防止の対策を考えることができる。 ・災害に備えた住まい方を工夫できる。 ・健康で心地よく住むための室内条件をまとめることができる。 ・快適な室内環境を整える方法を考えることができる。 		【主】家族が安全に住むために、家庭内事故について考えようとしている。 【思】家庭内事故の防ぎ方や対策方法について考え、工夫している。 【知】家庭内で安全に住むための室内環境条件を理解している。 【主】災害に備えた住まい方について考えようとしている。 【主】住まいにおける災害への安全対策について考え、工夫している。 【知】災害に備えた住まい方について理解している。 【主】健康で心地よい室内環境の整え方について、考えようとしている。 【思】健康で心地よい室内環境の整え方を考え、工夫している。 【知】健康で心地よく住むための室内環境の条件を理解している				
衣服の働き 目的に応じた着用		2	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活を振り返り、衣生活の学習の流れを把握し、学習の見通しを持つことができる。 ・衣服の社会生活上の働きを説明できる。 ・目的に応じて衣服を着用することの大切さに気づくことができる。 		【主】衣服の働きについて関心を持ち、目的に応じた着用について考えようとしている。 【思】衣服と社会生活との関わりを考えながら、目的に応じた着方を工夫している。 【知】衣服の社会生活上の働きや目的に応じた着用について理解している。				
衣服計画 衣服の購入		3	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服計画を立てることができる。 ・着ていない衣服の活用方法を考えることができる。 ・既製服を選ぶポイントを知る。 ・表示を正しく読み取って、既製服を選ぶことができる。 		【主】自分の衣服計画を立て、衣服の活用方法について考えようとしている。 【知】衣服の計画的な活用の必要性を理解している。 【思】目的に応じた既製服の適切な選択について考え、工夫している。 【知】既製服を選ぶための情報を収集し、整理することができる。 【知】既製服を選択するポイントについて理解している。 【知】既製服を選択するために、表示や採寸から情報を収集し、整理することができる。 【知】既製服の表示や採寸などを踏まえ、適切な既製服の選択方法について理解している。				
日常着の手入れ		3	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の手入れの必要性が分かる。 ・衣服の材料や状態に応じて、適切な手入れができる。 		【主】日常着の手入れに関心を持ち、洗濯や補修などの課題に取り組もうとしている。 【思】衣服の材料や状態に応じた洗濯や補修などの手入れについて考え、工夫している。 【知】繊維や布の状態に合った方法で日常着の手入れをすることができる。 【知】手入れの必要性や布の性質、汚れの種類とその特徴について理解している。				
豊かな生活生活を豊かにする工夫		9	<ul style="list-style-type: none"> ・生活を豊かにするための、布を用いた物の製作の学習の流れを把握し、学習の見通しを持つことができる。 ・布を使った製作物を、計画を立てて作るすることができる。 ・布で作った製作物を活用し、生活を豊かにできる。 		【主】布を用いて生活を豊かになる物を考え、製作の計画を立てようとしている。 【思】布を用いた物の製作の計画を立てるにあたり、安全で能率よく進める方法を考え、工夫している。 【知】印付けが正しくできる。 【知】待ち針を正しく打つことができる。 【知】ミシンの基本操作を習得し、ミシンを正しく安全に使うことができる。 【知】印に沿って、正しく安全に基礎的なミシン縫いができる。 【知】ミシンを使用する前後の点検、簡単な調整の方法について理解している。				
生活の課題と実践		2	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の衣生活と住生活の課題を見つけ、その課題を解決するために計画を立てて実践し、まとめて発表することができる。 		【主】自分や家族の衣生活又は住生活をよりよくすることに関心を持ち、課題を主体的に捉え、製作品の活用、改善策を考えようとしている。 【思】製作品を家庭で使用し、問題点と改善策を考え、工夫して手直しすることができる。				
中学生の消費生活		1	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な消費生活と環境について、学習の流れを把握し、学習の見通しを持つことができる。 ・自分や家族の消費生活を振り返ることができる。 ・契約について理解できる。 		【主】自分や家族の消費生活を振り返ろうとしている。 【知】契約について理解している。				
販売方法と支払い方法		2	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな販売方法と支払い方法の特徴について理解できる。 ・商品を適切に選択、購入、活用することができる。 		【主】身近な販売方法と支払い方法に関心を持ち、その利点と問題点について考えようとしている。 【知】販売方法と支払い方法の種類と特徴について理解している。				

令和8年度 評価規準

学校名:江戸川区立鹿骨中学校

商品の選択と購入	1	・消費者の権利と責任について理解できる。	【主】商品を選ぶときに重視するポイントについて関心を持ち、考えようとしている。 【知】物資・サービスの選択、購入および活用について必要な情報を収集・整理することができる。 【知】物資・サービスの選択、購入および活用に関する知識を身に付けている。
教科	技術・家庭(家庭分野)		学年
			2年
			No.2
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
消費者トラブル	1	・自分や家族にとって身近な消費者トラブルの事例とその解決方法を知る。	【主】消費生活に関わるトラブルなどを解決する方法を考えることを通して、自分や家族の消費の在り方を改善しようとしている。 【知】消費者トラブルに関する知識を身に付けている。
消費者の権利と責任	2	・消費者としての自覚を高め、よりよい消費生活について考えることができる。	【主】消費者の権利と責任について関心を持ち、消費の在り方を改善しようとしている。 【知】消費者の権利と責任、消費者基本法の趣旨について理解している。
より良い消費生活	1	・自分や家族のエネルギー消費が環境に与える影響を理解できる。 ・エネルギー消費を減らす方法を考え、実践できる。	【主】これまでの学習を振り返り、よりよい消費生活について考えようとしている。 【思】グリーンコンシューマーとして、環境に配慮した消費行動を考え、工夫している。 【知】よりよい消費生活が送れるよう、自分の消費行動を複数の観点から検討することの大切さを理解している。